

2023年8月9日

三井化学株式会社

タケラック®ポリウレタンディスパージョンの生産能力増強について

～モノマテリアル食品包材の需要拡大に対応～

三井化学株式会社（本社：東京都中央区、社長：橋本 修、以下 三井化学）は、環境対応ニーズの高まりによるモノマテリアル食品包材の需要拡大に対応するため、ポリウレタンディスパージョン（PUD）の生産能力を増強致します。具体的には三井化学エムシー株式会社（三井化学 100%出資、社長：小島 順一）清水工場に、以下のとおりPUD 生産設備の増設を行います。これにより、国内での生産能力は約 2 倍となる見込みです。



三井化学エムシー(株) 外観

■増強内容

製品	タケラック® PUD
工場立地	三井化学エムシー株式会社 清水工場内
増強後の生産能力	現生産能力の約 2 倍
スケジュール	着工：2024年2月、完工：2025年4月 営業運転開始：2025年6月（予定）

■三井化学エムシー株式会社 概要

会社名	三井化学エムシー株式会社 https://www.mck.co.jp/
資本金	3 億円（三井化学 100%出資）
事業内容	ポリウレタン樹脂の製造

タケラック®PUD は、耐熱性、高温度下における高いガスバリア性、耐摩擦堅牢性に優れた水系樹脂です。環境対応製品として、塗料・コーティング剤・接着剤・バインダー・樹脂改質剤・収束剤・繊維加工分野などで幅広く使用されています。近年、環境対応ニーズの高まりにより、リサイクル可能なモノマテリアル食品包装用バリアコーティング材として、欧州を中心に需要が拡大してきました。今後もモノマテリアル包材への需要拡大が見込まれることから、供給体制の構築を積極的に対応してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部

(TEL : 03-6880-7500、お問合せフォーム https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja)